



東海心理学会第 65 回大会 シンポジウム

育ち盛りのところを守る：予防教育の試み

「不登校」、「いじめ」、「暴力」などの様々な問題に直面して苦しんでいる子どもたちは、昨今の我が国において決して少なくありません。こうした子どもたちへの支援のあり方として、従来から学校臨床の領域においても、問題が生じた際の介入に加えて、開発的・予防的介入の重要性が指摘されてきました。しかし効果的な予防的介入が、実際の学校現場などで十分なされているとは言いがたいのが現状です。

本シンポジウムでは予防教育に焦点をあてて、長年予防教育の研究と実践に取り組まれてきた立場から山崎勝之先生に、そして児童精神科医であり名古屋市いじめ対策検討会議会長という立場から山田敦朗先生に、それぞれ話題提供していただきます。

【話題提供者とテーマ】

山崎勝之（鳴門教育大学・予防教育科学センター）

いじめ問題に挑む，抜本的予防—授業「誰もが主役」を実現する時空間デザイン—

山田敦朗（名古屋市立大学・医学研究科 精神・認知・行動医学分野）

児童精神科医の立場から予防教育に期待すること

【指定討論者】

山中 亮（名古屋市立大学・人間文化研究科）

【司会】

鋤柄増根（名古屋市立大学・人間文化研究科）

シンポジウム参加希望者へ

事前の参加予約は必要ありませんが、東海心理学会の会員以外の方は、当日、臨時会員（一般）として大会参加の手続きをしていただく必要があります。臨時会員（一般）の参加費は3000円です。また、臨時会員（一般）参加費をお支払いいただければ学会のすべての行事に参加できます。

日時：2016年6月4日（土）午後3時～5時30分

会場：名古屋市立大学滝子キャンパス

〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1番地